

一里塚

電電戸塚団地自治会

横浜市戸塚区平戸5-29-5

☎821-6466

今年度の

自治会活動の取り組み

副会長 木津谷勝正

新年おめでとうございます。2026年が会員の皆さまにとって良い年となることをお祈り申し上げます。

昨年は記録的な猛暑が長く続く等、天候不順が続きました。その中で、私たち自治会が各種行事に取り組みましたのも理事・班長・幹事等の役員の方々と会員の皆さまのご支援・ご協力のお蔭と深く感謝しております。

そこで、以下に今年度の主な活動についてご報告させていただきます。

安全・安心な街づくりへの取り組み

私たち電電戸塚団地自治会にとって安全・安心は重要な活動テーマです。昨年末12月8日の深夜には青森県で震度6強の地震が発生し、気象庁より初めて後発地震注意情報が発表されました。私たちにとっても日頃の災害への備えの

重要性を改めて認識させられました。

〈防災活動〉

11月9日に雨の中各班での自主防災訓練が行われ、多くの方に参加いただき防災組織の確認等を行いました。続いて班長は平戸小学校



撮影：大坂貢三（わに塚の桜と富士）

の地域防災拠点へ移動して、平戸地区の近隣の自治会と合同での訓練に参加しました。また、

8月には対象班長へ心肺蘇生法訓練を開催しAED（自動体外式除細動器）の使い方を学びました。その他、公館に備わった発電機・LPガスボンベ等の防災機器の機能点検にも努め、約1000食分の備蓄食料の入替えも行いました。

〈防犯活動〉理事・幹事・有志の協力を得て広報車で年間24回の防犯パトロールを実施。自治会内32ヶ所の防犯のぼり旗の点検・交換を行いました。5月には戸塚警察署の職員を招き、役員を対象に「防犯教室」を開催しました。戸塚区内で発生した特殊詐欺や訪問詐欺等の実例について学ぶ機会を設けました。

また、昨年は補助金で会館外壁に2台の防犯カメラを設置し、今年度中には6ヶ所8台目となる地域防犯カメラも補助金で設置予定です。自治会内の防犯体制を更に強化します。

〈防火活動〉

6月と10月に消火栓を使った放水訓練とともに家庭用消火器の使用訓練を開催。消防小屋周辺の草刈りも有志で行いました。

12月には消火器購入の斡旋も行いました。また今年度も老朽化した消火用ホース8本を新しい物に更新済みです。

環境問題への取り組み

〈5つの公園の維持管理〉私たちの自治会内の公園は、各班が交代で毎月の公園清掃を行っています。また、ここ数年は猛暑の影響か雑草の繁茂が著しいため、有志による草刈り機を使った大々的な草刈りや、戸塚土木事務所に依頼して中高木の枝の剪定等を適宜実施しています。〈ゴミウォークラリーの開催〉9月には資源循環

局戸塚事務所の職員の指導で実際のゴミ集積場所を回り、分別方法等について実地で学びま

した。その後は会館に移動してゴミ分別の方法やリチウムイオン電池の廃棄の仕方等を学びました。

子ども会と連携して大型行事を開催

自治会と子ども会の世話人が連携して地域の子どもたちにも喜んでもらえる行事に取り組んでいます。

〈夏祭りの開催〉7月に子どもたちを対象にゲームやかき氷屋台・ファミリーマート移動販売車等を集めて開催しました。本行事はコロナ明け以降に始まり、今年度で4回目となります。約1100名が集まる自治会最大の行事に成長しました。初出店したフランクフルト屋台が大盛況で、初めての試みとしてキャッシュレス決済の導入にも挑戦しました。

〈やきいも大会の開催〉11月に開催し、72名の小学生が参加しました。ドラム缶かまどに有志が薪に火をつけ、子どもたちが新聞紙やホイルで包んだサツマイモを焼き上げる行事です。子どもたちには大変喜んでもらいました。

敬老のお祝い品の贈呈について

77歳以上の会員の皆さまにお祝い品をお届けしました。事前に4つの品物から選んでいただく方法が好評です。残暑の厳しい中で班長の皆さま、対象の方々への配布をありがとうございます。

自治会設立60周年の年に向けて

最後に、2026年は私たち自治会の設立60周年の節目の年となります。歴代の役員・会員の皆さまに改めて深く感謝をいたします。新年度に向かい役員一同で新たな取り組みにも挑戦してゆくつもりです。今後ともご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

防災・防犯特集号

平戸小学校にて 地域防災拠点訓練を実施 平戸地域で総勢195名が参加

横浜市中では震度5強以上の地震が発生すると市内459ヶ所の地域防災拠点が開設されます。平戸四丁目・五丁目、平戸小学校です。11月9日(日)に平戸地区の各自治会から選出された運営委員を中心に行政職員・学校職員と連携して恒例の地域防災拠点訓練を実施しました。雨天の中でも電電自治会では各班自主防



平戸小学校5年1組による
段ボールベッドの組立て実演



電電消防団による
災害対策用トイレの設営実演



防災対策の映像講習

災訓練に総勢445名が参加し、続いて75名が拠点訓練に参加しました。地震発生時の開設・運営手順を確認し、参加者は校庭の災害用地下貯水タンクからの給水実演・避難者カード記入・ハマッコトイレ設営・災害時の映像講習会に参加し、今年度は平戸小学校の児童による段ボールベッドの組立て実演や、NPO法人「風の音」と連携した要支援者の避難誘導等の新しい取組みを実験しました。訓練に参加していただいた役員の方さま、ありがとうございました。
(地域防災拠点運営委員長 蓬田 司)

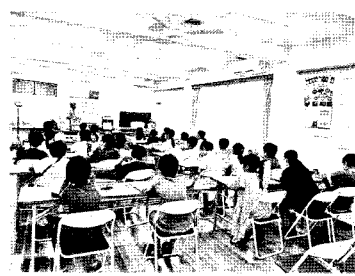
平戸小学校の児童へ 防災授業を実施

9月22日(月)に、電電自治会館にて4年生の児童を対象に昨年に続いて「地域での防災への取り組み」をテーマに社会科の校外授業を行い、講師を務めさせていただきました。電電自治会館で保有する発電機やLPガスボンベ・約1000食分の備蓄食料について説明を行いました。一方で自治会員は3200名を超えていて、災害時の基本である3日分の必要量は2万8800食以上です。自宅での食

料備蓄も大切であることを説明し、また自宅の倒壊や延焼の際は自治会館や平戸小学校の防災施設や備蓄食料が使えることを理解してもらいました。4クラス約100名の児童たちは電電自治会の会員も多く、熱心に耳を傾けてくれました。今後も地域の皆さんと一緒に防災対策に取り組んでまいります。
(会長 蓬田 司)

神奈川県総合防災センター 施設見学会報告

10月15日(水)に、平戸地区連合町内会主催で第2回となる施設見学会を開催しました。各自治会から防災担当役員を中心に25名(電電自治会からは理事・幹事の9名)が中型バスで厚木市の巨大施設を訪れました。施設では過去の災害映像で学習した後最大震度7



平戸小学校4年生への校外学習



神奈川県総合防災センター

今年度の放水訓練は6月8日(日)に第5格納箱付近、10月19日(日)に第7格納箱付近の2回、対象班の方々を中心に行いました。それぞれの訓練では自治会内の第三分団第2班の消防団(電電消防団)のご指導を得ました。多数の参加者が小型消火器の使用方法や消火栓・消火ホース等を使用した・連の放水手順などを体験しました。

放水訓練を2回実施



の地震体験・最大風速30mの風水害体験・煙体験・災害体験VRコーナー等、貴重な体験ができました。今後も平戸地区の自治会と連携して各種の活動に活かす施設見学会を開催する予定です。
(防災交通担当副会長 木津谷勝正)



震度7の地震体験

しかし実際は、大規模震災の際には消防の対応は思うほどできないそうです。今回の訓練に参加したことで、地域の防火体制の強化に役立つことを期待したいと感じました。

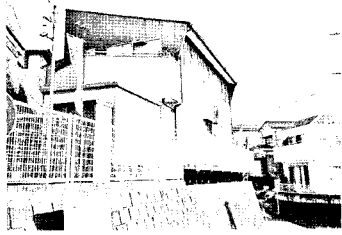
(理事 防火防犯部長 阿部美伸)



自治会館に防犯カメラを設置

地域の防犯対策として地域住民が安全・安心に暮らせる街づくりを目指して、周辺道路を見守るために自治会館2階のバルコニーに防犯カメラ(2台)を設置しました。

今回は横浜市防犯緊急補助金を活用して設置しました。補助金の上限は20万円です。自治会の実質的助率は10分の9です。自治会の実質的な負担は僅かで済みました。

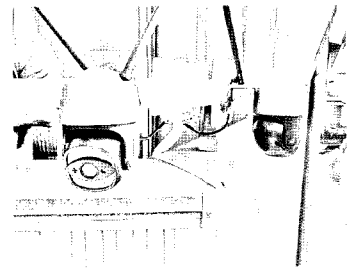


自治会館

その他に例年の地域防犯カメラも平戸第二公園下公園を見通せる場所に設置予定です。

これら6ヶ所8台の防犯カメラの稼働により自治会内の事件・事故の抑制効果を期待しています。

(理事 防火防犯部長 阿部美伸)



2階テラスに防犯カメラ(2台)

消防小屋の周辺の草刈りを実施

9月21日(日)に理事と有志で消防小屋(消防団器具置場)周辺の草刈りを行いました。特に今年は夏場に記録的な猛暑が続いたために、雑草の繁茂が著しく、草刈り機が大活躍しました。

消防小屋の敷地は横浜水道局から消防局へ移管されており、日頃の管理は各地の消防団

消防小屋

の敷地は横浜水道局から消防局へ移管されており、日頃の管理は各地の消防団



理事有志で実施

消防小屋周辺の草刈り

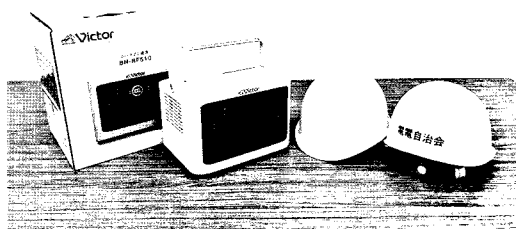
に任されています。しかし消防団のみでは管理が難しい為に自治会が応援している活動です。

(理事 防火防犯部長 阿部美伸)

防災備品の購入

自治会では停電時の防災備品としてポータブル電源を2台保有しています。現在保有している機材の故障が判明し、新たに購入しました。自治会で保有するガスパワー発電機やソーラーパネルで給電し停電時にライト点灯のほかにパソコンやスマートフォンなどの充電などに使用する考えです。今年度は1台購入し、来年度にも更に1台購入して2台体制とする予定です。

また、各班及び理事等の役員に貸与する防災用ヘルメットを70個購入しました。一般社団法人日本ヘルメット工業会によると「防災用ヘルメットは6年以内の更新」が推奨されていますので今後は自治会の防災用ヘルメットは6年での更新を



原則とします。

(理事 防災交通部長 北口善裕)

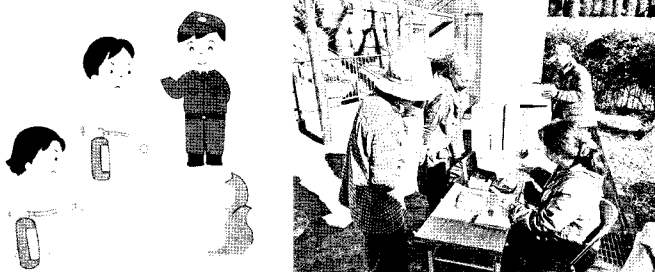
消火器の購入・薬剤詰替えの斡旋

今年度も恒例の小型消火器の購入と薬剤詰替えの斡旋を12月7日(日)に第二公園の下公園で行いました。事前に各班から回覧板で申し込みを受け付け、新規購入15本、詰替え2本、廃棄15本でした。

なお、自治会では毎年2回の放水訓練の会場で小型消火器(水使用)の操作体験を行います。

対象班の皆さまは万が一の火災に備えて、是非ともこの機会に消火器操作を体験されますようにお勧めします。

(防火防犯担当副会長 木津谷正勝)



消火器の斡旋

子ども会と

「やきいも大会」を開催

11月2日(日)に第二公園グラウンドで「やきいも大会」が開催され、子ども会会員の小学生72名が参加してくれました。

子どもたちにはサツマイモを新聞紙とアルミホイルで包む作業を担当してもらい、焼き上がるまでの時間は皆でゲームをして楽しみました。

火の管理は自治会の理事・幹事が担当。戸塚土木事務所から貸与されたドラム缶かまどに薪で火をおこし、40分程でホクホクで美味しいやきいもが出来上がりました。子どもたちには焼き上がったおいもとお菓子の入った参加賞を持ち帰ってもらい、お家で食べてもらいました。「とても甘くて美味しかった」など嬉しい感想もいただき思わず頬が緩みました。

今年も無事開催できましたのも子ども会の世話人や幹事・役員の皆さまのお蔭です。心より感謝申し上げます。

(理事 文化部長 佐藤俊子)



やきいも配布



ドラム缶かまどにいもをセット



子どもたちでやきいもの準備



ゴミ集積場所

ウォークラリー

9月27日(土)に資源循環局戸塚事務所の職員を招き、ゴミ集積場所ウォークラリーを実施しました。参加は班長・理事ほか44名。

参加者は2つのグループに分かれ、第一公園、第二公園下からスタートして集積場所を回り、職員の方に出されたゴミを見ながら分別方法や注意点をアドバイスいただきました。自治会館に集まりました。

会館ではヨコハマプラ5・3計画や、12月から変わるリチウムイオン電池等のゴミ出しルールの説明を受けました。プラごみではラップや食品包装のプラは軽く汚れを落とす程度でプラごみとして出す。電池類は可能な限り電池を使い切り、テープ等で端子部を絶縁するなどの注意点がありました。今後もルールを守り集積所を清潔に保つ気持ちを持ちたいと感じました。

(理事 環境衛生部長 瀬慶弓)



資源循環局職員による講習会



熱心に聞き入る参加者



ゴミ集積場所での説明

2025年度会員の動き

2025年5月～12月

〈転入〉

班	氏名	転入月
24班	松井 辰美	5月
27班	川口 柊太	5月
36班	香川 祐治	6月
1班	内藤 豊嗣	7月
16班	伊藤 祐人	8月
14班	田島 博樹	9月
24班	杉森 勇介	9月
23班	木本 雄太	11月
19班	小幡 正晃	12月

〈転出〉

班	氏名	転出月
32班	谷川 正文	5月
8班	佐久間 陽介	11月

◆編集後記◆

今回の「一里塚」は今年度の自治会活動の報告号となります。私たちの重要テーマである「安全・安心で住みよい街づくり」への取り組みを中心に記事を構成いたしました。早いもので今年度の活動も残り3ヶ月間となります。来年度はいよいよ自治会設立60周年を迎えます。会員の皆さまの一層のご支援ご協力をお願いいたします。

(理事 総務担当 原山泰司)

